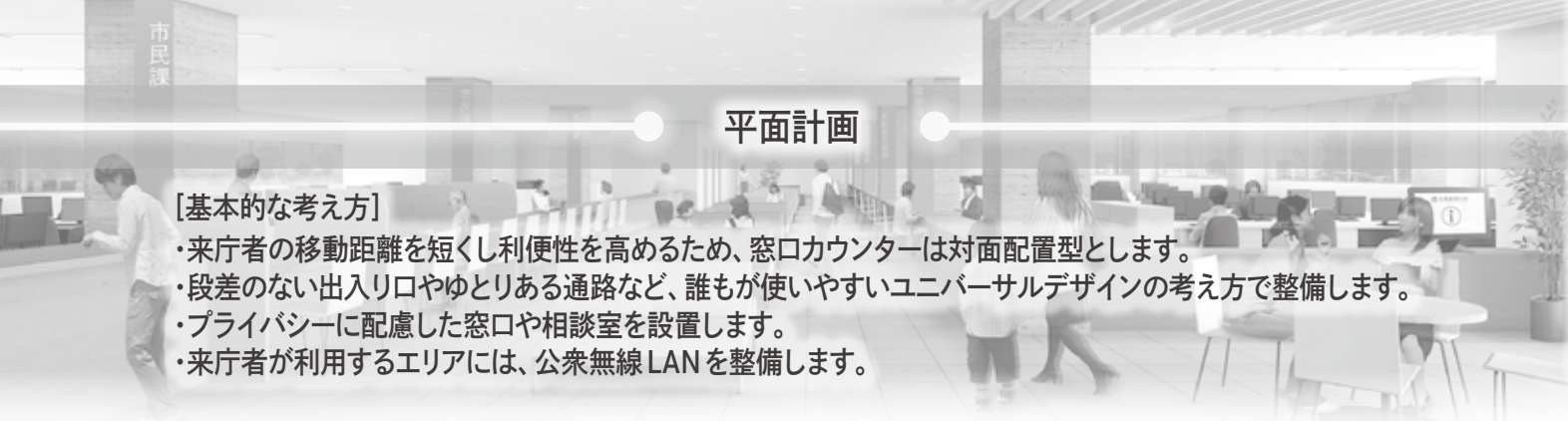


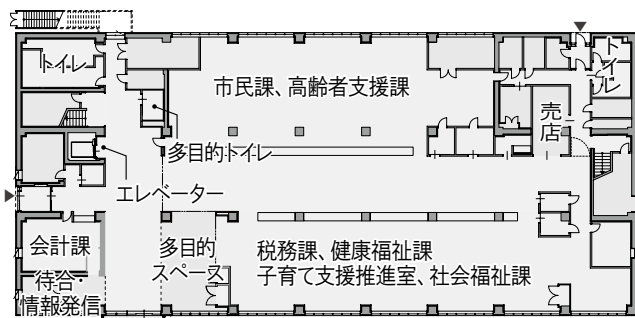


平面計画

【基本的な考え方】

- ・来庁者の移動距離を短くし利便性を高めるため、窓口カウンターは対面配置型とします。
- ・段差のない出入り口やゆとりある通路など、誰もが使いやすいユニバーサルデザインの考え方で整備します。
- ・プライバシーに配慮した窓口や相談室を設置します。
- ・来庁者が利用するエリアには、公衆無線 LAN を整備します。

1階



- ・利用頻度の高い窓口を配置します。
- ・来庁者が自由に休憩などができるほか、臨時事務や展示など多目的に活用できるスペースを正面玄関付近に設けます。
- ・子育て世代に配慮して授乳室やキッズスペースを設けます。

2階



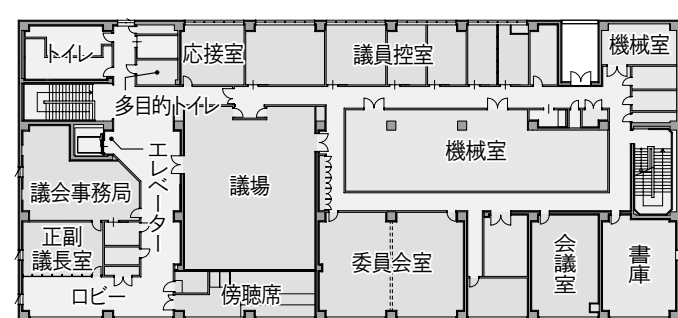
- ・市長室などの特別職諸室や管理部門などを配置します。
- ・特別職諸室に近接して災害対策室などを設け、災害発生時に迅速に対応できる庁舎とします。
- ・大会議室は来庁者の利用を考慮し、エレベーター近くに配置します。

3階



- ・1階に次いで来庁者が多い窓口や部署を配置します。
- ・水害時の出入り口として、2階に屋外階段を設置します。

4階



- ・議会施設を集約配置し、議場は対面配置型とします。
- ・議場と委員会室は議会以外の用途での使用を可能とします。
- ・傍聴席は、議会ロビーから続く床面をフラットとし、車いすスペースや親子室を設けます。
- ・議会ロビーを見晴らしの良い南面に配置し、来庁者が眺望できるスペースとします。

新庁舎建設基本設計案が まとまりました

市では、市役所庁舎を現在の敷地内で建て替える新庁舎建設事業を進めています。このたび、新庁舎建設の基礎となる「新庁舎建設基本設計書概要版(案)」がまとまりましたので、主な内容をお知らせします。

現在の市役所庁舎は、建設から50年以上が経過し、施設・設備の老朽化をはじめ、耐震性能やバリアフリー機能の不足など多くの課題を抱えています。市では、これらの課題を解消するため、新庁舎建設に向けた取り組みを進めています。

昨年度は、市民で構成する市庁舎整備検討会議や市議会庁舎整備特別委員会などでの議論をはじめ、市民アンケート調査や市民説明会などを行い、新庁舎建設基本計画を11月に策定しました。

本年度は、基本計画に基づき、建物の配置や構造、設備のほか各階の基本的なレイアウトなどを定める基本設計の策定を進めてきました。

基本設計の検討にあたっては、昨年度に引き続き、市庁舎整備検討会議や市議会庁舎整備特別委員会などの議論のほか、市民説明会やパブリックコメントを実施し、広く市民の皆さんにお知らせし意見を募ったところで、市では、これらの取り組みで寄せられた意見を踏まえ、今後、新庁舎建設基本設計を決定します。

※広報9月号には、7月下旬までにまとめた「基本方針」や「配置・動線」「階構成」「ユニバーサルデザイン」「防災」などについて掲載しましたので、今月は、8月以降に取りまとめた内容を中心にお知らせします。

- ・高さを感じさせない水平ラインを強調したデザインとし、凹凸のないシンブルな形状で、外装材は金属板を採用します。
- ・外断熱工法や複層ガラスを用いた窓により、省エネルギー化と快適性の向上を図ります。
- ・断熱性能の向上や自然エネルギーの利用などで環境負荷と維持管理コストを抑えます。
- ・建物の一次エネルギー消費量を削減するネット・ゼロ・エネルギー・ビル(ZEB)の実現に向けて検討します。
- ・全館LED照明の採用などで、照明エネルギーを削減します。
- ・井戸水や地中熱などを利用した熱源設備の導入を検討します。
- ・床面からの放射熱を利用した効率的な冷暖房などを採用します。
- ・機能的でシンプルなデザインを基本とし、耐久性やメンテナンス性を考慮するとともに、安心安全な材料を選定します。
- ・地場産材を活用した木質系の材料を部分的に使用します。
- ・環境配慮計画
- ・内装計画

▼整備スケジュール

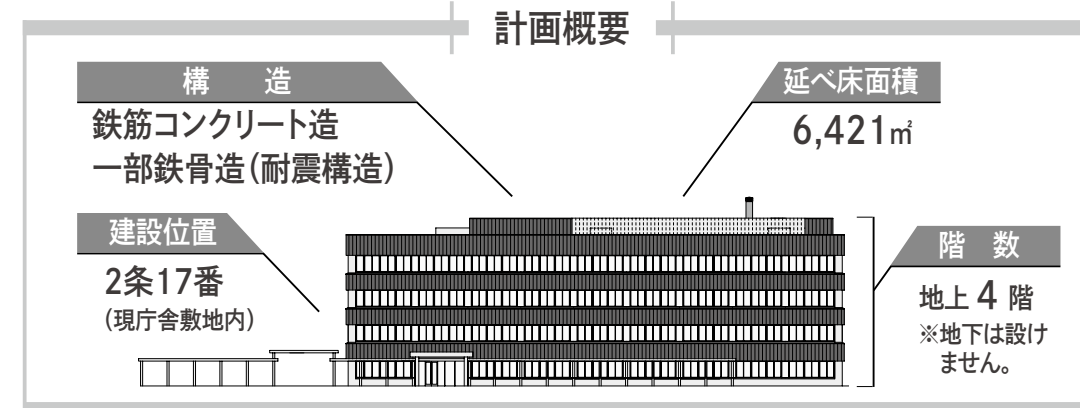
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6・7年度
基本・実施設計	建設工事			外構・解体工事など

 **【問合先】**
総務課庁舎建設推進室建設推進係
(☎26・2226)

▼概算工事費(金額には消費税を含む)

区分	概算工事費	備考
建設工事費	37億円	建築工事、電気設備工事、機械設備工事
解体工事費	2億7,800万円	旧庁舎の解体
外構工事費	2億3,000万円	駐車場などの外構
その他費用	7億2,200万円	設計、備品購入、情報機器移設、引っ越しなど
合計	49億3,000万円	

計画概要



市民の利用が多い1階の天井高を高くし、2・3・4階は必要最低限の階高に留め、建物全体の高さを抑えてコスト削減を図ります。